

危機を前に、人は弱い。

でも、

危機を前に、人は強い。

災害や感染症の脅威が訪れた時。

人は不安になる。恐怖に怯える。

けれど、人は励まし合い、前に進むことができる。

私たちは知っています。

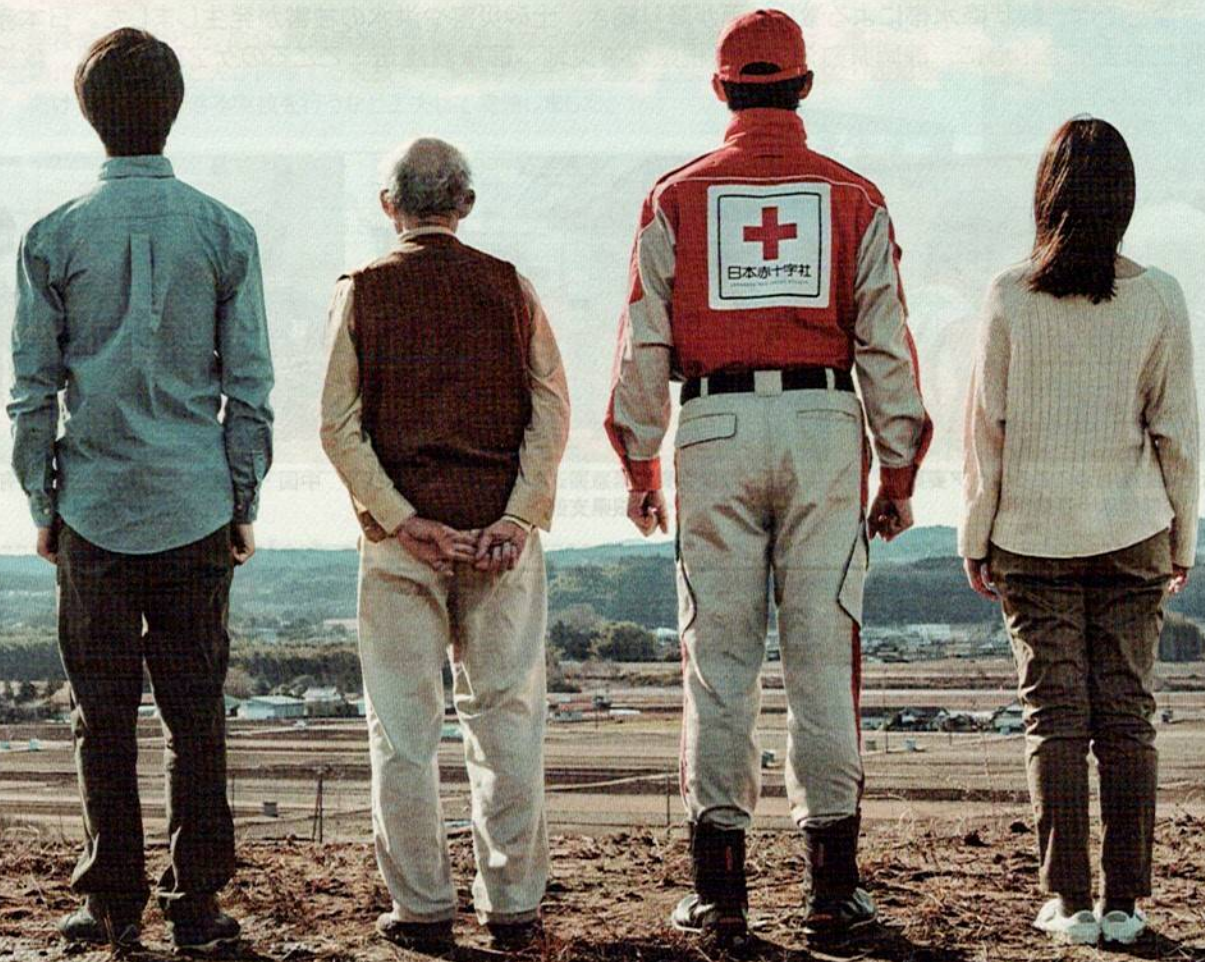
大切な人を守ろうとする姿を。

災害に立ち向かおうとする人たちの強さを。

そんな思いに応えて、ともに乗り越えていくために。

災害の現場で、赤十字の医師・看護師・ボランティアが活動をつづけます。

救いを託されている。あなたとともに。



活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。

救いを託されている。



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

国内災害救護活動報告

近年、国内外で地震や台風といった自然災害が頻発しており、さらに気候変動などの影響により、その規模は広域化・激甚化しています。令和3年7月、8月には、大雨に伴う土砂災害などの被害が各地で発生し、日本赤十字社は、医療救護班の派遣等の支援を行いました。今後も私たちは、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命を果たすため、災害救護活動をはじめとした、赤十字活動を続けてまいります。

令和3年7月大雨災害

令和3年7月、梅雨前線等の影響で東海地方や関東地方において記録的な大雨となり、特に静岡県熱海市では、土石流による人的被害・住家被害が発生しました。中国地方などでは、線状降水帯による激しい雨が降り続き、土砂災害や洪水の被害が発生しました。日本赤十字社は、被災地県支部を中心に、静岡県熱海市や島根県の被災地へ医療救護班・こころのケア班の派遣、救援物資の配分を行いました。



避難所で活動を行うこころのケア要員
＜静岡赤十字病院＞



救援物資を緊急搬送する職員
＜島根県支部＞



中国・四国地方の被災状況を共有する職員
＜広島県支部＞

令和3年8月大雨災害

令和3年8月、停滞する前線の影響で九州北部や中国地方に発達した雨雲が流れ込み続け、各地で大雨による河川の氾濫や土砂災害が発生しました。

日本赤十字社は、被災県に対し、医療救護班・日赤災害医療コーディネートチームの派遣など、各種救護活動を展開しました。当支部は、県内被災市町へ救援物資の配分、義援金の募集などを行いました。



避難所で被災者に聞き取りを行う看護師
＜佐賀県支部＞

広島県支部における救援物資の配分及び義援金の受付状況

毛布  150 枚	安眠セット  181 セット	緊急セット  95 セット
大人用寝衣  7 着	タオル類 3点セット  235 セット	義援金 (令和3年12月時点) 364 件 52,533,993 円



救援物資を搬送する職員＜広島県支部＞

お寄せいただいた義援金は、県及び市町に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災者にお届けしています。

当支部の主な活動報告(令和2年度)



災害救護活動

Domestic Disaster Response

7月豪雨災害の発生に伴い、熊本県葦北郡芦北町に医療救護班を派遣した他、医師・看護師をはじめとする救護員が被災地で直ちに活動するため防災訓練へ参加、研修会の開催などを行いました。

地域コミュニティにおける「自助」「共助」の力を高めるため、学校などで赤十字防災セミナーを開催しました。

● 主な実績

- ▶ 救護訓練・研修会などへの参加 職員等延べ109名参加
- ▶ 救援物資の配分 毛布144枚／緊急セット76セット／バスタオル142枚
安眠セット155セット／寝衣137着(大人用129着＋子供用8着)
- ▶ 赤十字防災セミナーの開催 受講者数355人／開催回数4回



熊本県の避難所で活動する救護員



広島市総合防災訓練



講習普及事業

Safety Services

学校や企業などで、応急・救命手当を学ぶ救急法などの各種講習を実施しました。感染拡大防止のため、人と人が接触する実技やグループワークは極力控え、動画を用いたり距離をあけて単独でできる実技を行うなど工夫して実施しました。

● 主な実績



受講者数
5,344人
開催数
192回



受講者数
244人
開催数
14回



受講者数
92人
開催数
5回



受講者数
1,546人
開催数
96回



救急法



幼児安全法



青少年赤十字

Junior Red Cross

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、計画していたイベント等は中止となりましたが、オンラインにより研修会や国際交流を行いました。

- ▶ 青少年赤十字国際交流集会 国内から41都道府県、海外から東南アジアを中心に21か国 計400名の高校生が参加しました。
- ▶ 青少年赤十字スタディ・プログラム 青少年赤十字のリーダーを養成するプログラムに全国199名の高校生が参加しました。



青少年赤十字国際交流集会



国際活動

International Activities

当支部は、各国赤十字社と連携し、実施する次の国際活動に対して支援を行いました。

- ▶ アジア・大洋州給水衛生災害対応キット支援事業 災害が多発するアジア大洋州地域に「給水・衛生対応キット」を配備し、災害時の給水・衛生分野の緊急対応能力を強化する活動
- ▶ 東ティモール救急法普及支援事業 交通網や救急医療システムが不十分な東ティモール民主共和国において救急法の技術指導や機材を支援する活動
- ▶ ネパール・コミュニティ防災強化事業 ネパール連邦民主共和国において災害に備えた強い地域づくり、保健医療体制の強化、衛生環境の改善などを支援する活動

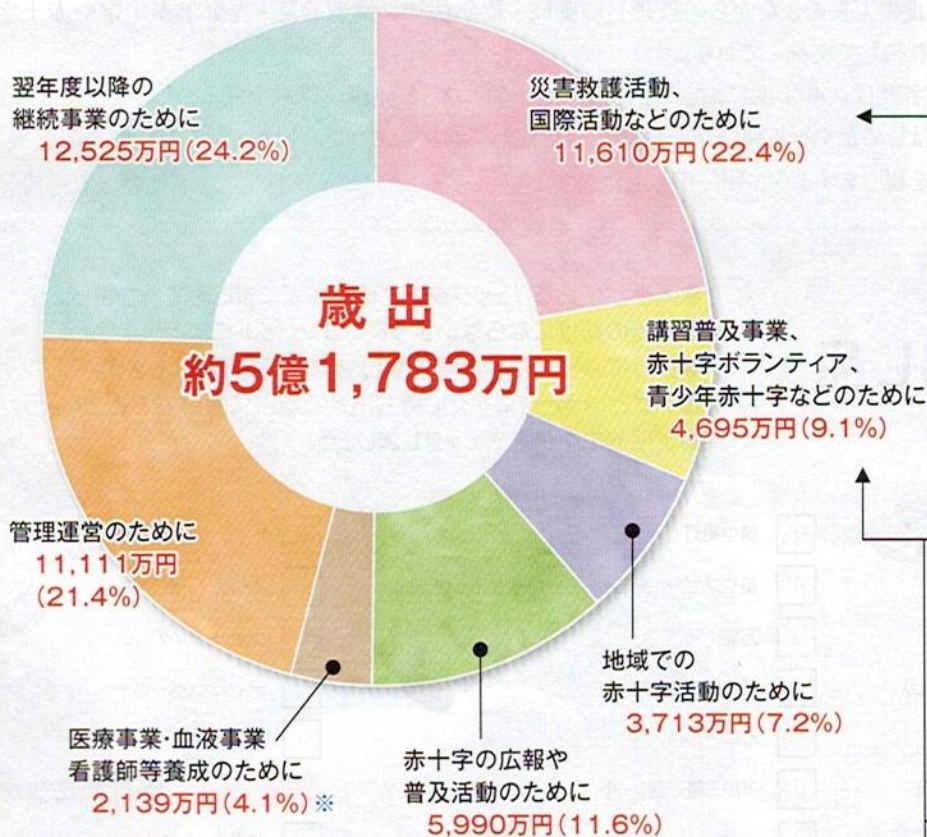


給水・衛生対応キット

活動資金の用途(令和2年度)



令和2年度、県民の皆さまからお寄せいただいた活動資金は、
総額 **349,714,327円(340,464件)**
となりました。改めまして、心より御礼申し上げます。



※県内赤十字病院における新型コロナ対策用
消耗品・機材等整備費含む

歳入 約5億1,783万円

〔内訳〕 お寄せいただいた活動資金	34,971万円
その他の収入	6,325万円
継続事業のための繰越金	10,487万円

災害救護活動



国際活動



講習普及事業



赤十字ボランティア



青少年赤十字



あなたのご寄付で、できること

2,000円

安眠セット (1人分)

たとえば2,000円のご寄付で…避難所での不自由な生活を少しでも和らげるために、キャンプマット、枕、アイマスクなどをセットにした「安眠セット」を整備することができます。



10,000円

緊急セット (3世帯12人分)

たとえば10,000円のご寄付で…避難所生活で役立つ携帯ラジオ、懐中電灯、風呂敷などをセットにした「緊急セット」3セット(3世帯12人分)を整備することができます。





活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。

日本赤十字社は、国内外で苦しんでいる人びとを救うため、皆さまから寄せられた寄付(活動資金)により災害救護をはじめとする各種活動を行っています。

寄付の方法

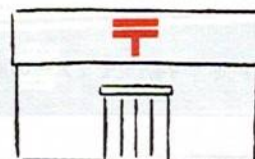
1 町内会や自治会を通じて

2 日本赤十字社広島県支部や各市町の赤十字担当窓口で

3 各金融機関窓口からお振込みで

○郵便局・ゆうちょ銀行のお振込み先

記号番号	01320-6-69124	日本赤十字社広島県支部
店名・口座番号	一三九店 0069124	



※令和4年1月から新設された払込サービスを現金で利用する場合の料金加算(110円/件)及び硬貨取扱料金(51枚以上)は、活動資金(社資)と申し出た場合、料金は免除されます。

○銀行、JAバンク、信用金庫のお振込み先

金融機関名	支店名	口座種別	口座番号	口座名義
広島銀行	大手町支店	普通	0830810	日本赤十字社広島県支部長
もみじ銀行	鷹野橋支店	普通	1005837	
JA広島信連	本所	普通	0103691	
広島信用金庫	鷹野橋千田支店	普通	0175821	

※お振込みをする場合は、上記金融機関で手数料が免除となる振込用紙をお送りいたします。
振込用紙のご請求は、日本赤十字社広島県支部(担当:組織振興課)までご連絡ください。

4 クレジットカードで

Webサイトからのご登録により、
クレジットカードでご寄付いただけます。
ご寄付の方法は、毎年・毎月・今回のみの
3種類からお選びいただけます。



🔍 日赤 寄付 クレジットカード

5 口座振替で

ご指定の口座から自動引き落としでご寄付いただけます。
「会員加入申込書」をホームページからダウンロードしていただくか当支部までご請求いただき、必要事項
を記入後、郵送にてお申し込みください。



🔍 日赤 寄付 口座振替

遺言による寄付(遺贈)や 相続財産等による寄付のご案内

日本赤十字社は、遺贈や相続財産による寄付、香典返しによる寄付を承っております。
詳細はホームページをご覧ください。当支部までお問合せください。

○個人情報の取り扱いについて

活動資金のご支援を通じて取得した個人情報は、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告の送付及び活動資金の募集の目的のためにのみ使用します。

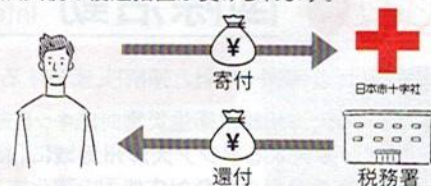
○お断り

ダイレクトメールのほか、町内会や自治会を通じた活動資金へのお願いが重複する場合がございます。
何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は、確定申告することで個人の所得税や、企業・団体の法人税の優遇措置が受けられます。

個人の場合



所得控除の計算式

A:年間所得総額-B:(寄付金額×2,000円)=C:所得税課税対象額

※寄付金額は年間所得総額の40%が上限となります。

🔍 日赤 税制上の優遇措置



人間のいのちと健康、尊厳を守る



日本赤十字社
広島県支部長
湯崎 英彦

平素から赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、日本赤十字社は、新型コロナウイルス感染症に対し、全国の赤十字病院で感染者及び感染疑い者を受け入れや目に見えないウイルスに対する不安や差別を解消するための啓発活動を実施しています。また、災害発生時においては、感染防止対策を講じた上で医療救護やこころのケアなどを行っています。

このほか、人流抑制の中で医療需要に見合った献血者の確保、オンラインの活用や3密の回避など、感染拡大防止の工夫をしながらの救護員の養成・救急法等の講習普及・青少年赤十字や赤十字ボランティアの育成を継続して実施しております。

日本赤十字社は、本年度におきましても「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすため、災害救護をはじめとする各種事業を積極的に展開して参りますので、皆さまからの一層のご支援と活動資金へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

もしもの災害に備えて 非常時の持ち出し品

☑ チェックリスト

- 両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- 避難の妨げにならないよう軽くコンパクトにまとめましょう。
- 自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう。
- いざというときにすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。
- 定期的に中身をチェックしましょう。

貴重品

- ☐ 現金
- ☐ 健康保険証
- ☐ 身分証明書（運転免許証、パスポートなど）
- ☐ 印鑑
- ☐ 銀行の口座番号、生命保険契約番号など
- ☐ 母子健康手帳
- ☐ マイナンバーカード
- ☐ 車や家のカギ

情報収集用品

- ☐ 携帯電話（充電器、非常用充電器含む）
- ☐ 携帯ラジオ（予備の電池含む）
- ☐ 家族の写真（はぐれた時の確認用）
- ☐ 緊急時の家族・親戚・知人の連絡先
- ☐ 広域避難地図（ポケット地図でも可）
- ☐ 筆記用具
- ☐ 家族との災害時の取り決めメモ

便利品など

- ☐ 防災ずきん、またはヘルメット

- ☐ 懐中電灯
- ☐ 笛やブザー（音を出して居場所を知らせるもの）
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ビニール袋
- ☐ アルミ製保温シート
- ☐ 毛布
- ☐ スリッパ
- ☐ 手袋
- ☐ マッチライター
- ☐ 給水袋
- ☐ 雨具（レインコート、長靴など）
- ☐ レジャーシート
- ☐ 簡易トイレ

清潔・健康のためのもの

- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬・持病薬
- ☐ お薬手帳
- ☐ タオル

- ☐ トイレtpペーパー
- ☐ 着替え（下着含む）
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 歯ブラシ

食料など

- ☐ 非常食（3日分）
- ☐ 飲料水（3日分）1人1日3リットル目安

その他

- ☐ 紙おむつ（幼児用・高齢者用など）
- ☐ 生理用品
- ☐ 粉ミルク・哺乳瓶など（赤ちゃんに必要なもの）
- ☐ 予備の眼鏡・コンタクトレンズ
- ☐ その他自分の生活に欠かせないもの

感染対策に必要なもの

- ☐ マスク
- ☐ 体温計
- ☐ 消毒液



日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society



詳しい情報は、
ホームページを
ご覧ください。



〒730-0052 広島市中区千田町2-5-64（担当課）組織振興課
TEL 082-545-5011（直通） 082-241-8811（代表）

日赤 広島県支部





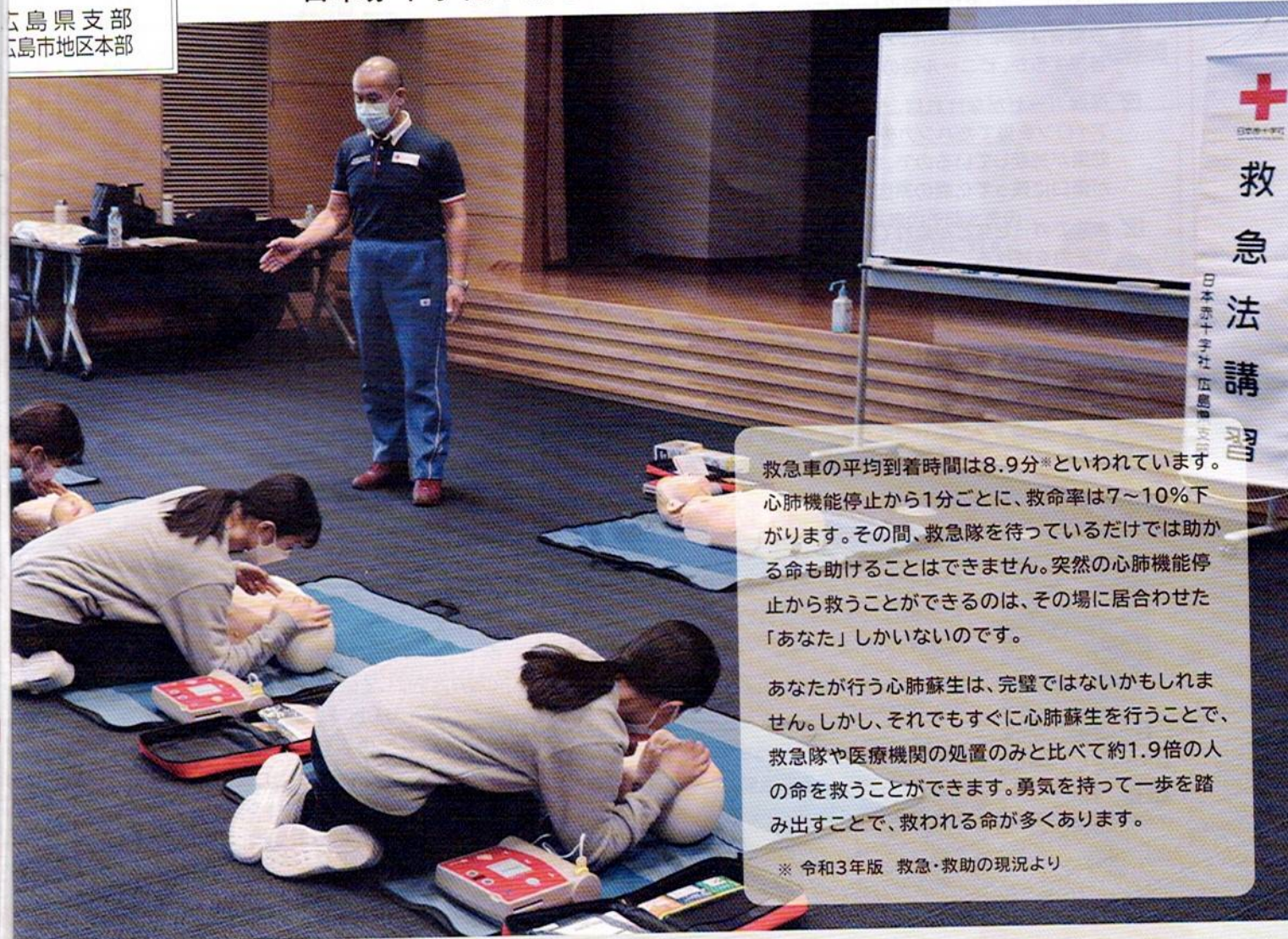
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

広島県支部
広島市地区本部

約9分の間にできること

「助けたい」思いを行動に

- 日本赤十字社の救急法講習 -



救急車の平均到着時間は8.9分※といわれています。心肺機能停止から1分ごとに、救命率は7~10%下がります。その間、救急隊を待っているだけでは助かる命も助けることはできません。突然の心肺機能停止から救うことができるのは、その場に居合わせた「あなた」しかいないのです。

あなたが行う心肺蘇生は、完璧ではないかもしれませんが、それでもすぐに心肺蘇生を行うことで、救急隊や医療機関の処置のみと比べて約1.9倍の人の命を救うことができます。勇気を持って一步を踏み出すことで、救われる命が多くあります。

※ 令和3年版 救急・救助の現況より

いつも赤十字の活動をご支援いただき、ありがとうございます。

日本赤十字社の活動は、5月の赤十字運動月間を中心に、町内会や自治会等を通じて活動資金にご協力いただいている皆様のご理解とご支援のおかげで成り立っています。

広島市地区本部では、ご支援いただいた地域の皆様に、赤十字の活動で感謝の気持ちを伝えたいとの思いから、地域の団体や地域の方々が集まって講習会や防災セミナーの開催を申し込まれる場合、通常は有料となる講師派遣費用・テキスト代を無料とする取り組みを行っています。この機会に、知って得する講習会を開催してみませんか。

コロナ禍での
赤十字講習の
開催・参加条件

- ✓ 3つの密(密閉・密集・密接)の防止を図ります。
 - 十分な換気を行います ● 人との間隔は、原則2メートル程度確保します
 - 人と人が接触する実技は、動画視聴等にかえて行います
- ✓ マスクの着用や手指消毒を徹底します。消毒済みの器材を使用します。
- ✓ 受講者や指導員の健康状態を確認した上で行います。

PRESENT 贈り物

講習会等受講者には
救命サポートエコバッグ
プレゼント!



胸骨圧迫をする際、デザインのハートマークに胸を合わせるだけで、大まかな圧迫の位置が分かります。またAEDを使用する際のプライバシー保護にも繋がります。



※ 長崎市消防局 考案

とっさのとき、どうする？ 切り傷の止血法



調理中や作業中に、鋭利なものでざっくりと皮膚を切ってしまった！
よくあるけがですが、出血量が多い場合は、すぐに止血しなくてはなりません。
最も効果的な止血法を覚えておきましょう。

まず、流水で傷口を洗ってから右図を実践します。その際は以下のことに
気を付けてください。

【切り傷の止血法：直接圧迫法】

- ☑ 救助者は感染予防のため、負傷者の血液に触れないようにビニール手袋を
着用するか、ビニール袋の上から圧迫する
- ☑ 保護ガーゼがなければ、タオルや清潔なハンカチなどで代用する。特に、
アイロンを当てたハンカチは、折りたたんで空気に触れていない面の滅菌
効果が持続しているので、常備しておくとう便利。ティッシュペーパーは、繊維
が傷口に残って化膿の原因にもなるため使わないこと
- ☑ 血液でガーゼなどがぬれて止血効果が低下したら、別のガーゼなどを重ね
て圧迫を続ける
- ☑ 医療機関を受診する際は、治療の妨げとなるため、薬品での消毒を避ける

切り傷でもう一つ注意が必要なのは「化膿」です。「赤くなっている」「腫れている」「ズキズキとした痛みがある」
などの化膿症状があれば、すぐに医療機関を受診してください。

日本赤十字社広報誌「赤十字NEWS」から引用

直接圧迫法



知ること守れる命 行動すること救える命



日本赤十字社広島県支部
協谷 孔一
(救急法指導員・幼児安全法指導員)

日常生活の中で、ちょっとしたキズの手当から
突然倒れた人への対応の仕方まで、私たちに
できることがあります。

Love is not enough. Love and knowledge
are necessary.

(命を守りたいという気持ち<愛>だけでは十分
ではない。命を守るには愛とともにそれを実行
する力<知識と技術>が必要です。)

一歩踏み出す勇気と、それを後押しする
健康と安全の知識や方法を身につけましょう。
赤十字の講習では、実際に練習を行って覚える
ことを大切にしています。
子どもから大人までどなたでも参加できます。
対象となる方の要望や必要な内容に応じ、
アレンジして講習を展開いたします。
地域の集会所や職場、学校や施設など多くの
場所に出向いています。お気軽にご相談ください。

よくあるご質問

Q 講習会を開催したいのですが、いつまでに申し
込みをすればいいのでしょうか？

開催希望日の2か月前までに、日本赤十字社広島県支部
へお電話ください。
詳しいお申し込み方法は、裏面をご覧ください。

Q 講習会を開催する場所は、どのような所がいい
でしょうか？

お住まいの地域にある集会所や公民館等を講習会の
会場とすることができます。

Q 講習会を開催する場合、準備物はありますか？

動きやすい服装でお越しください。
受講者の皆様には、マスクの着用や検温・消毒などを
お願いさせていただいています。
受講する講習によっては、指導員と準備物の打ち合わせ
をします。

Q 講習時間は短時間しか取れないのですが、指導
員を派遣してもらえますか？

各種講習会の開催時間は2時間を基本としていますが、
ご希望の時間に合わせて講習会を実施できますので、
お気軽にご相談ください。

Q 小学校1年生の子どもの手当について学びたい
のですが、救急法と幼児安全法のどちらを受講
すれば良いのでしょうか？

救急法は、一般的なけがや急病など手当の方法などが
学べる内容になっており、対象も小児から高齢者までを
含みます。

幼児安全法は学齢前までの乳幼児を主に対象とした、
起こりやすい事故の予防と手当の方法、病気への対応の
仕方を学べる内容となっています。

学びたい内容に応じて、どちらからでも興味の高い講習
から受講していただけますが、両方の講習の受講をお勧
めしています。



赤十字出前講習会

会場をご用意いただければ、無料で受講できます

■ 救急法

日常生活における事故防止の知識と、思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人に対する、医師や救急隊に引き継ぐまでの知識と技術を学びます。



■ 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、手当などの知識と技術を学びます。



■ 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期をすこやかに過ごすために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術を学びます。



■ 幼児安全法

こどもに起こりやすい事故の予防とその手当、発熱、けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術を学びます。



■ 災害時高齢者生活支援講習

被災した高齢者の避難所生活に焦点を当て、高齢者の不安を軽減し、不自由な生活から高齢者を守るために誰もが知っておきたい知識と技術を学びます。



■ 防災セミナー

災害による被害をできるだけ小さくするために必要な知識と技術を学びます。



講習会の教材

救急法		水上安全法	幼児安全法
一次救命手当	応急手当		
1	2	3	4
- 心肺蘇生 - AED - 気道異物除去	- 手当の基本 - 止血 - 骨折 - 搬送等	- 日常生活の水の事故 - 海・川・プールの危険を知ろう - 事故が起きたら等	こどもに起こりやすい病気や事故の予防と手当等

健康生活支援講習		
	認知症	災害時高齢者生活支援講習
5	6	7
- 加齢に伴うからだの変化 - 高齢者に起こりやすい病気や事故の予防と手当等	- 物忘れと認知症の違い - 認知症の人への対応 - 予防と早期発見等	- 災害が高齢者に及ぼす影響 - 生活不活発の予防 - 断水時の体の清潔等

講習会申込書

申込者

年 月 日

団体名			
申請者	住所 広島市 区		
	フリガナ 氏名		
	電話 (昼間連絡のつく番号)	FAX (FAX申し込みの場合は必ず記入)	

連絡先(上記申請者と異なる場合のみ記入してください)

住所 広島市 区	
フリガナ 氏名	
電話 (昼間連絡のつく番号)	FAX (FAX申し込みの場合は必ず記入)

申込内容

希望する講習会	☐ 救急法	☐ 水上安全法	☐ 幼児安全法
	☐ 健康生活支援講習	☐ 災害時高齢者生活支援講習 (講習時間は2時間)	☐ 防災セミナー
講習希望内容			
講習開催日時	月 日 () 時 分 ~ 時 分まで		
講習受講者数	人		
講習会場	会場名		
	住所	広島市 区	
	部屋の種類	☐ 洋室 ☐ 和室 ☐ その他 ()	
	駐車場の確保	☐ 可 ☐ 不可	
教材(希望時のみ) ※冊子番号は、裏面の「講習会の教材」から選択	冊子番号	冊子番号	冊子番号
	冊数	冊数	冊数

お申し込み方法

ステップ
1[講習内容・日程の調整]
地区本部の講習会とお伝えください日本赤十字社 広島県支部 事業推進課
〒730-0052
広島市中区千田町二丁目5-64
電話 **082-545-5111**ステップ
2[申込書の送付先]
郵送の場合は、84円切手を同封ください日本赤十字社 広島県支部 広島市地区本部
〒730-8586
広島市中区国泰寺町一丁目6-34
電話 082-504-2137
FAX 082-504-2169

● 注意事項

- (1) 講習会の受講人数は、おおむね10名以上をお願いします。
- (2) 申し込み後の日程、時間、会場や人数の変更及びキャンセルは、速やかに日本赤十字社広島県支部へご連絡ください。変更の場合は再度申込書をお送りいただく場合があります。
- (3) 講習会申し込みに当たって得た個人情報、本講習会を実施するために必要な連絡等に使用するものであり、目的以外の利用や外部への提供はいたしません。
- (4) 災害や気象警報発表時、また新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止とさせていただきます場合があります。

FAX 082-504-2169